

全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会2020 (プール)
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2020 (プール)」を開催いたします。

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者(競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員)は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<プール競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに付随して、主催者・参加者がすべきこととしてチェックリストを公開していますので、ぜひご活用願います。併せて、各団体/クラブの指導者やコーチの皆様は、参加競技者への指導と説明をお願い致します。

新型コロナウイルスの流行に対し、要項発表の時点では実施の方向で準備を進めていますが、今後、感染拡大の危険性、流行のピーク、開催地を管轄する都道府県及び自治体の方針などをふまえ開催中止も含め変更する場合があります。あらかじめご了承願います。

敬具

記

- 競技会名称 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2020 (プール)
 - 第7回全日本ジュニアライフセービング・プール競技選手権大会
 - 第7回全日本ユースライフセービング・プール競技選手権大会
 - 第2回全日本マスターズライフセービング・プール競技選手権大会
- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 日程 2021年2月13日(土)~14日(日)
- 会場 世田谷区総合運動場温水プール(東京都世田谷区大蔵4-6-1)
- 後援(予定) 世田谷区、世田谷区教育委員会、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
- 助成(予定) 公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業
- 協力(予定) 東京都ライフセービング協会

■ 競技種目

【 小学生の部 】

[個人種目]

- 01 障害物スイム (50m) (小学1.2年女子)
- 02 障害物スイム (50m) (小学1.2年男子)
- 03 障害物スイム (50m) (小学3.4年女子)
- 04 障害物スイム (50m) (小学3.4年男子)
- 05 障害物スイム (50m) (小学5.6年女子)
- 06 障害物スイム (50m) (小学5.6年男子)
- 07 ジュニアチューブスイム (50m) (小学1.2年女子)
- 08 ジュニアチューブスイム (50m) (小学1.2年男子)
- 09 レスキューチューブトウ (100m) (小学3.4年女子)
- 10 レスキューチューブトウ (100m) (小学3.4年男子)
- 11 レスキューチューブトウ (100m) (小学5.6年女子)
- 12 レスキューチューブトウ (100m) (小学5.6年男子)

[チーム種目]

- 13 障害物リレー (4×50m) (小学6年以下) *男女混合チーム可
- 14 レスキューチューブリレー (4×50m) (小学6年以下) *男女混合チーム可

【 中学生の部 】

[個人種目]

- 15 障害物スイム (100m) (中学女子)
- 16 障害物スイム (100m) (中学男子)
- 17 マネキンキャリー (50m) (中学女子)
- 18 マネキンキャリー (50m) (中学男子)
- 19 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (中学女子)
- 20 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (中学男子)
- 21 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (中学女子)
- 22 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (中学男子)

[チーム種目]

- 23 ラインスロー (10m) (中学女子)
- 24 ラインスロー (10m) (中学男子) *男女混合チーム可
- 25 マネキンリレー (4×25m) (中学女子)
- 26 マネキンリレー (4×25m) (中学男子) *男女混合チーム可
- 27 障害物リレー (4×50m) (中学女子)
- 28 障害物リレー (4×50m) (中学男子) *男女混合チーム可
- 29 メドレーリレー (4×50m) (中学女子)
- 30 メドレーリレー (4×50m) (中学男子) *男女混合チーム可

【 高校生の部 】

[個人種目]

- 31 障害物スイム (100m) (高校女子)
- 32 障害物スイム (100m) (高校男子)
- 33 マネキンキャリー (50m) (高校女子)
- 34 マネキンキャリー (50m) (高校男子)
- 35 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (高校女子)
- 36 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (高校男子)
- 37 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (高校女子)
- 38 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (高校男子)

[チーム種目]

- 39 ラインスロー (12.5m) (高校女子)
- 40 ラインスロー (12.5m) (高校男子) *男女混合チーム可
- 41 マネキンリレー (4×25m) (高校女子)
- 42 マネキンリレー (4×25m) (高校男子) *男女混合チーム可
- 43 障害物リレー (4×50m) (高校女子)
- 44 障害物リレー (4×50m) (高校男子) *男女混合チーム可
- 45 メドレーリレー (4×50m) (高校女子)
- 46 メドレーリレー (4×50m) (高校男子) *男女混合チーム可

【 マスターズの部 】

[個人種目]

- 47 障害物スイム (100m) (マスターズ女子)
- 48 障害物スイム (100m) (マスターズ男子)
- 49 マネキンキャリー (50m) (マスターズ女子)
- 50 マネキンキャリー (50m) (マスターズ男子)
- 51 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (マスターズ女子)
- 52 マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (マスターズ男子)
- 53 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (マスターズ女子)
- 54 マネキントウ・ウィズフィン (100m) (マスターズ男子)

[チーム種目]

- 55 障害物リレー (4×50m) (マスターズ) *男女混合チーム可
- 56 メドレーリレー (4×50m) (マスターズ) *男女混合チーム可

- 小学生の部・中学生の部・高校生の部にエントリーする全ての競技者は、チームの責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、エントリーをすること。
- 全ての種目において、タイム決勝にて実施をする。
- [個人種目] 種目の登録数は競技者 1 人につき 2 種目を基本とする。3 種目以上に出場する場合は、追

加参加費（1,000円/1種目）が必要となる（但し、チーム種目を除く）。

- [チーム種目] 小学生の部及びマスターズの部のチーム種目は、男女別を設けず男女混合のみとする。中学生の部および高校生の部のチーム種目は男女別での実施とするが、男子の種目に限り男女混合でのエントリーを認めるが、男子を少なくとも1人以上を含むこと。
- [チーム種目] 各団体／クラブからカテゴリ別にそれぞれ各3チームまでとする。但し、同一競技者が複数組に出場することは認められない。
- [チーム種目] 中学生の部における「ラインスロー（10m）」は、クロスバーの位置を「スタートする側のプールの端から10mの地点」に変更して競技を行うこととする。

■ 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2020年版>（2020.06.04版）」及び競技会参加規程に則り実施をする。詳しくは競技会参加規程7.を参照すること。

※競技ルールを十分に理解して出場すること。

■ タイムテーブル

別紙を参照すること。確定版は、申込締切・集計後に2次要項と共に公表する。

■ 得点／団体総合順位

タイム決勝の結果に対して各種目の上位1位～8位を入賞とし、得点が加算される。配点は以下の通りとする。

1位-8点 2位-7点 3位-6点 4位-5点 5位-4点 6位-3点 7位-2点 8位-1点

- [個人種目]、[チーム種目] とともに同じ得点とする。
- 同種目に同じ団体／クラブの競技者が入賞した場合も、上記の通りの得点が加算される。
- 団体／クラブの獲得点が同点の場合、1位の種目が多い団体／クラブを上位に、1位の種目が同数の場合は2位の種目が多い団体／クラブを上位に…、として団体総合順位を決定する。
- 決勝で失格の場合は「0点」とする。
- 団体総合順位は、本競技会で実施する種目の80%以上（カテゴリー別）の最終競技結果をもって、成立するものとする。
- 本競技会に限り、本協会加盟団体／クラブでない競技者又はチームが入賞した場合でも入賞の対象とする。但し、団体総合順位のための加点は対象外とし、次点のチームの繰り上げも行わない。

■ 表彰

<種目別表彰>

各種目上位1位～3位にメダルを授与する。

<団体総合表彰>

前項（得点／団体総合順位）の獲得点を、小学生・中学生・高校生・マスターズ・クラブ総合（全年齢合計）のカテゴリ別で総合得点を算出集計し、獲得点の多い上位1位～3位の団体／クラブに表彰状を授与する。

■ 参加費

【競技者個人】

小学生 1名につき 5,000円 ※保険代含む
中学生 1名につき 6,000円 ※保険代含む
高校生 1名につき 7,000円 ※保険代含む
マスターズ 1名につき 8,000円 ※保険代含む

※ [チーム種目] のみに出場する競技者も、エントリーフォーム「様式 B-3（個人種目・男子）」又は「様式 B-4（個人種目・女子）」に競技者情報を入力し、参加費を支払うこと。

【[個人種目] 追加参加費】

3種目以上に出場する場合は、1種目ごとに1,000円

※ [チーム種目] は含まれない。

【[チーム種目] 参加費】

1種目につき 1,000円

【変更手数料】

1つの変更につき 3,000円

- 申込締切後であっても、各種変更（出場種目変更及び追加、エントリータイムの修正、その他の記載事項の修正、など）を可能とする。但し、申込締切時にエントリーが完了している競技者のみを対象とする。
- 新たな競技者のエントリーは一切認めない。
- 種目の追加を行う場合、変更手数料と併せて前述の参加費（〔個人種目〕追加参加費、〔チーム種目〕参加費）も支払わなければならない。
- 変更手数料の振込先は、エントリー参加費と同様の口座とする。期限内に必ず支払うこと。期限内に変更手数料（及び追加に伴う不足分の追加参加費）が支払われない場合は一切の変更を受け付けない。
（変更例）
種目を1つ変更する場合＝3,000円
種目を2つ変更する場合＝6,000円
個人種目2種目エントリー済み、1種目追加する場合＝4,000円（追加1,000円＋変更3,000円）

【参加費の扱いについて】

以下のような状況であっても、参加費及び変更手数料は返還されない。

- 参加競技者が欠場あるいは失格となった場合。
- 申込締切後に出場登録が取り消された場合。
- エントリーミスによる競技会出場不可の場合。
- 天候その他の理由により、やむを得ず開催中止となった場合。

但し、本競技会に限り、新型コロナウイルスの流行に対し、今後感染拡大の危険性、流行のピークなどをふまえ事前に開催中止と判断された場合はこの限りではない。この場合による参加費返金は以下の通りとする。但し、振込手数料は返金額から差し引くこととする。

- 競技会当日から2週間以上前の判断による場合：参加費の70%を返金 ***目安 2021/1/29(金)以前**
- 競技会当日から2週間以内の判断による場合：返金しない

【その他】

後述するテクニカルオフィシャルの選出エントリーに不備があり、指定する期日までにその不備が修正されず、それでも競技会に出場を希望する場合は、救済のためのペナルティ手数料（選出審判員の不備：30,000円）が科される場合がある。参加するテクニカルオフィシャルが【参加規程】を満たしているかよく確認し、不備がないうえで申込締切日までにエントリー作業を進めること。

エントリー不備がある時点で、本来であれば出場は不可である。期日までにエントリーを正しく完了している団体／クラブと、公平性を保つための処置とする。

※参加競技者本人及び参加団体／クラブのエントリーに不備があった場合は、いかなる理由でも救済を認めない。そのため、参加競技者及び参加団体／クラブともに申込締切日までに【参加規程】を満たしているかどうか、各団体／クラブの代表者は必ず確認をすること。

■ テクニカルオフィシャルの選出

参加団体／クラブの参加競技者人数に応じたテクニカルオフィシャルの選出をすること。競技会運営を円滑に実施するための措置とする。競技会参加規程 9. を遵守すること。

■ 代表者会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する代表者会議を、両日とも競技会の前に開催する。団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず出席をすること。詳細は2次要項にて、エントリー担当者宛にメールで配信をする。

開催日時：2021年2月13日(土)及び2月14日(日) 競技開始前（予定）

開催場所：競技会会場 プール招集エリア（予定）

■ 宿泊について

本協会及び行政（観光協会／組合、など）の斡旋はしない。必要な場合は各団体／クラブで手配すること。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各大学及び各団体／クラブにおいて、宿泊利用をすることがよく検討をすること。また、宿泊施設のルール（感染症の対策、収容人数、など）を遵守すること。

■ 観覧席

安全管理上及び会場の場所取り等での混乱を避けるため、各団体／クラブ観覧席の区分けをあらかじめ大会実行委員会にて指定をする。区分け詳細は2次要項にて公表とする。

■ 会場へのアクセス/駐車場について

世田谷区総合運動場温水プール
東京都世田谷区大蔵 4-6-1

<https://www.se-sports.or.jp/facility/sougou-p/>

- 極力、公共交通機関を利用すること。
- 会場隣接の有料駐車場は利用できるが、時間・台数に制限があるため注意すること。
- 絶対に違法駐車はしないこと。

■ キャップについて

競技用キャップは各団体/クラブで用意すること。キャップが用意できない場合は、主催団体にて貸し出し可能とする。貸し出し希望の団体/クラブは事前に申し出をすること（様式任意）。但し、数に限りがあるため、可能な限り各団体/クラブで用意すること。

■ 情報発信

競技会専用の SNS を活用し、競技会関係各位へ 2 次的に情報提供をするため運用を行う。本競技会に限らず、国内の競技会全般の情報発信とする。

SNS 名称 : Facebook

アカウント名称 : JLA Lifesavingsport

<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport/>

■ 申込方法

各種要項等を必ず熟読し、以下の手順でエントリー作業を行うこと。提出先などの詳細は、別紙「エントリースケジュール（各種締切）」を必ず確認すること。

※様々なエントリー不備（期日までに各種登録が完了していない、宛先メールアドレス入力間違っている、郵送物が提出されていない、入金金額が不足している、など）が非常に多く発生している。申込締切日までに正しくエントリー出来ていない場合は、(前述のテクニカルオフィシャル選出を除き)いかなる状況・理由でもその後のエントリーは認めず、また参加費の返還はしない。エントリー担当者はミスが無いように慎重に作業を進めること。

【オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」での作業】

- 各団体/クラブは、原則として本協会第 1 種、第 2 種、第 5 種、第 6 種（いずれか 1 つ）の 2020 年度登録を期日までに完了させること（登録の承認を受け、期日までに登録費を支払う）。
- 各競技者は、自身の「選手登録」の 2020 年度登録を期日までに完了させること（登録申請を行い、期日までにそれぞれの登録費を支払う）。
- 各競技者は、「クラブ加入申請」又は「継続加入申請」を行い、出場する団体/クラブへの所属を完了させること。また各団体/クラブ代表者は出場する競技者の各種登録（資格登録、選手登録、所属登録）が完了しているかどうか必ず確認をすること。
- 団体登録費、資格登録費、選手登録費の支払いは「LIFESAVERS」システムに従い入金をすること。参加費受付の金融機関口座への振り込みではないので注意すること。

【データ提出物の作業】

- 「エントリーフォーム」を使い、各団体/クラブ情報、各競技者個人情報及び出場種目、チーム種目の出場種目を入力し、指定された提出先メールアドレスへ期日までに提出（メール送信）をする。
- 申込締切後の各種変更手続きをする場合は、指定のフォームを使い指定された提出先メールアドレスへ期日までに提出（メール送信）をする。
- 2 次要項の配信及びその他の情報発信は、全てメール配信にて行う為、「compe@jla.gr.jp」からのメール受信ができるように、端末（メールソフト、スマートフォン、など）の受信設定をすること。

【郵送での作業】

- 「エントリーフォーム」のうち「様式 D（同意書）」を印刷し、各団体/クラブ代表者は同意書の各項目を熟読および遵守すること。必要事項を記入し、指定された宛先（住所）まで期日までに郵送で提出すること。

【参加費支払いの作業】

- 各団体/クラブの参加費合計金額（個人参加費＋チーム種目参加費）を、指定された金融機関口座へ期

日までに支払うこと。

- 申込締切後の各種変更手続きをする場合は、変更手数料の合計金額（変更手数料＋不足分の参加費）を、指定された金融機関口座へ期日までに支払うこと。
- 参加費の支払いは、「LIFESAVERS」では取り扱えないため、注意すること。

■ その他

【会場への入場制限について】

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、競技会会場への入場は関係者（出場競技者、引率者 2 名まで、競技会運営スタッフ、競技役員）のみとする。この為、競技に出場しない者（同チーム在籍だが本競技会に出場しない者、同チームの卒業生、保護者、一般観客、など）の来場は控えること。

【競技会場について】

- ウォーミングアップ用に開放するプールは水深 1.0m の為、飛び込み行為は禁止とする。また、レーンロープは切れやすい為、つかまったり寄りかかったりしないこと。
- メインプールにおける水深は 1.6m とする。また、全 8 レーン仕様のため、本競技会では中央寄りの 6 レーンを使用し、両端の 2 レーンをマネキン等器材の準備レーンと使用する。

【食事について】

- 会場となる総合運動場内にある「レストラン赤坂クーポール 砧店」の利用が可能。
- 希望する団体／クラブは、競技会当日の弁当を事前手配することもできる。詳細は各団体／クラブから当該レストランへ直接連絡すること。
- <https://www.se-sports.or.jp/facility/sougou/shop>

【競技成績証明書】

各種目で入賞した競技者で競技成績証明書が必要な場合、本協会 LIFESAVING SITE「ライフセービングスポーツ」→申請・規定・規則→競技成績」より「競技成績証明書」を入手し、本協会事務局まで提出すること。発行申請は該当する競技会より 1 年以内の期間で受付をする。

【スポーツ育成委員会より】

本競技会は、第 12 期ハイパフォーマンスプログラム（第 12 期 HPP）の選考対象とする。本競技会における個人および団体種目の結果を参考に、第 12 期 HPP のハイパフォーマンスチームに選出する。なお、プログラムの内容や応募については後日、JLA ホームページに掲載する。（11 月末日予定）

■ オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得し、管理ページにて保有資格等の確認と 2020 年度登録費（個人：資格登録や選手登録、団体：団体登録）の支払いを済ませること。各種登録は 1 年ごとである。なお、登録方法の手順や不明点は、「LIFESAVERS」の問い合わせフォームから問い合わせをすること。

<https://life-savers.jp/>



■ 保険について

競技会参加規程のもとの参加者（競技者、競技役員）は、以下の保険に加入している。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため、保険の対象とはならない（例：レース中、A 競技者のクラフトが B 競技者のクラフトにぶつかり B 競技者のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、競技会本部事務局に直ちに報告すること。

【傷害保険】

| | |
|----------|------------------|
| 死亡保険金額 | 500 万円 |
| 後遺障害保険金額 | 20 万円～500 万円 |
| 入院保険金額 | 3 千円 |
| 手術保険金額 | 入院保険金額の 5 倍～10 倍 |

※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

【個人賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物） 500万円

※1 事故につき5千円の事故負担

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

【団体賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物） 2億円

賠償責任保険（管理財物） 50万円

賠償責任保険（人格権侵害） 50万円

事故対応費 500万円

見舞費用（死亡） 50万円

見舞費用（後遺障害） 2万円～50万円

見舞費用（入院） 2万円～10万円

見舞費用（通院） 1万円～5万円

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

■ お問い合わせ

公益財団法人日本ライフセービング協会事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階

TEL：03-3459-1445（対応時刻：平日12:00～18:00）

FAX：03-3459-1446

LIFESAVING SITE：<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/>

全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2020（プール） 参加規程

1. 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者（ジュニア／小学生の部）は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 17 条第 1 項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢に達していること。
- 1-2 競技者（ユース／中学生の部）は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法第 17 条第 2 項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢に達していること。
- 1-3 競技者（ユース／高校生の部）は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法第 17 条第 2 項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢を超過していること。但し、超過は 3 歳以下とする。
- 1-4 競技者は、ライフセービングを志している者でなければならない。
- 1-5 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格を、申込締切期日までに取得していることを推奨とする。年齢区分別に対象資格は以下の通りとする（参考）。
- | | | |
|-------|---|--------------------------------|
| マスターズ | : | サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格※ |
| 高校生 | : | BLS 資格及びウォーターセーフティ資格 |
| 中学生 | : | ウォーターセーフティ資格 |
| 小学生 | : | (対象外) |
- ※サーフライフセービング資格又はプールライフガーディング資格とは次の資格のことを指す（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）
- サーフライフセービング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - プールライフガーディング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ベーシック・サーフライフセーバー
 - アドバンス・サーフライフセーバー
 - プールライフガード
 - アドバンス・プールライフガード
- 1-6 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2020 年度の選手登録費の支払いを完了していなければならない。
- 1-7 競技者は、1 つの団体／クラブから出場しなければならない。
- 1-8 競技者は、自身が出場する種目の競技規則（ルール）を熟知していなければならない。

2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本協会第 1 種、第 2 種、第 5 種、第 6 種（いずれか 1 つ）の団体登録が完了していることを基本とする。
- 2-2 前項「2-1」が満たせない場合は、その団体／学校／クラブなど、同じグループに所属している競技者により構成されたグループで出場することができる。このグループであっても入賞した場合は競技別の表彰対象とするが、団体総合順位のための加点は対象外とする。
- 2-3 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成されていなければならない（競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること。但し、本協会へ団体登録がない団体／クラブを除く）。

3. 団体／クラブ名称

参加団体／クラブ名称は、本協会に登録されている団体／クラブ名称を基本とする。但し、前項「2-2」に該当する場合は、エントリーをする団体／クラブ名称等で構わない。

4. 出場登録

- 4-1 参加競技者は、予め所定の用紙（電子データファイル）を用いて出場種目の登録をしなければならない（エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする）。
- 4-2 エントリーに過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」が出来る。但し、既に出場登録が完了している者のみ対象とし、新たな競技者の追加登録は認めない。なお、全種目について、変更又は追加が出来るものとする。
- 4-3 競技者個人の技術や体力などを十分に考慮し、出場登録を行うこと。出場登録する全ての競技者は、

チームの責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、出場登録をすること。

5. 団体／クラブ代表者

- 5-1 各参加団体／クラブは、団体／クラブを代表する者として代表者を1名置かなければならない。なお、団体／クラブ代表者と競技者はこれを兼任することが出来る。また、団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず代表者会議に出席しなければならない。
- 5-2 団体／クラブ代表者は、18歳以上の者でなければならない（但し、高校生を除く）。

6. ユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各団体／クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。
- 6-4 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 6-5 キャップを準備していない団体／クラブにあつては、主催団体が用意するキャップを着用して参加することができる。主催団体が用意するキャップを借用する場合は、必ず事前にその旨を申請すること（様式任意）。

7. 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2020年版>（2020.06.04版）」及び下記の事項に則り実施をする。但し、下記の事項が競技規則よりも優先される。

- 7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 7-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 7-3 マネキン・ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。
- 7-4 マネキン・ハンドラーは、原則として競技者と同じチームのメンバー（本競技会に競技者として出場登録している者）とする。やむを得ずチームメンバー以外からマネキン・ハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本競技会に競技者として出場登録している者、又は競技者のチームの関係者から選出すること。「関係者」とは、当該競技者が所属する団体の当日引率者（2人まで）であること。この場合、さらに以下を条件とする。
- 2020年度選手登録が完了していること。
 - マーシャル等において、2020年度選手登録完了の証明が提示できること。
- 7-5 本競技会における上訴の預託金の金額は、10,000円とする。
- 7-6 小学生の部及び中学生の部の競技規則は、「ライフセービング競技規則<2020年版>（2020.06.04版）」本文及び巻末の「付録B.ジュニア／ユース競技規則」を適用する。
- 7-7 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象競技者の競技を中断することがある。
- 7-8 本競技会は、利用する施設の都合により以下の点について競技規則の適用外とする。
- スタート壁／折返し壁から5m及び10mのラインは、レーンロープのバサロマークもしくはプールサイドのカラーコーンによる目視ラインで代用する場合がある。
 - プールの深さ（水深）は1.6mとする。
 - レースで使用するレーン数は、6レーンとする。
 - スタート台の高さは42cm、プールの水面からスタート台までの高さは72cmとする。

8. 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 プール競技で使用するマネキン、障害物、レスキューチューブ、スローラインは、主催団体が用意する。

- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。
- 8-4 ラインスロー（10m）及びラインスロー（12.5m）において、クロスバーとして障害物スイム等の「障害物」を用いる。
- 8-5 小学生の部におけるジュニアチューブスイム（50m）で使用するレスキューチューブは、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順」で定められているものとは異なる器材を用いる。

9. テクニカルオフィシャルの選出

- 9-1 参加団体／クラブは、参加競技者数に応じてテクニカルオフィシャルを選出しなければならない。選出する人数は以下の通りとする。
競技者 5～10名=1名、同 11～20名=2名、同 21～40名=3名、同 41名以上=4名
何らかの理由でテクニカルオフィシャルが参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。両日に渡り必要人数の選出がない（競技会当日に必要な人数のテクニカルオフィシャルの参加がない）団体／クラブは、本競技会への出場を認めない（団体／クラブ全体の不参加とする）。
- 9-2 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。
- 9-3 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定するBLS資格を、申込締切期日までに取得していることを推奨とする。
- 9-4 選出するテクニカルオフィシャルは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて2020年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。
- 9-5 選出されたテクニカルオフィシャルは、「競技役員1次要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。
- 9-6 選出されたテクニカルオフィシャルの参加に関わる食事等は「競技役員1次要項」に基づき、主催者が負担する。交通費は支給しないため、自己負担又は選出した各団体／クラブが負担すること。
- 9-7 選出されたテクニカルオフィシャルは2日間を通じて参加できること。なお、2日間を通じてテクニカルオフィシャルを選出できないときは、やむを得ず、日ごとにテクニカルオフィシャルが入れ替わることを認める。

10. 記録の扱いについて

今大会での記録（タイム）は日本記録を更新したとしても認定されないものとする（本協会発刊ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順 8.1 プール施設規格」に適合しないため）。

11. その他

- 10-1 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン＜プール競技編＞】を必ず熟読し、それらを確実に遵守すること。
- 10-2 競技会中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した写真や映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 10-3 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 10-4 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

以上